

1. 教育計画

疾病の成り立ちと回復

分野	専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進	科目名	臨床微生物
単位・時間	1 単位・30 時間	対象学年	1 年生
方法	講義	時期	後期
講師名 (担当授業時間数)	外部講師 三宅 正紀 (28 時間)		
学習目標	微生物の種類や特徴と感染のしくみについて学び、感染管理の理解につなげる。		
成績評価方法	筆記試験		
使用テキスト	医学書院 e テキスト「系統看護学講座 疾病のなりたちと回復の促進4 微生物学」		
参考文献	わかる! 身につく! 病原体・感染・免疫 改訂3版 (南山堂) ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ち(3) 臨床微生物・医動物 第5版 (メディカ出版)		
履修上の留意	特になし		
講師からの メッセージ	講義では、日常生活、医療現場等での具体的な事例を関連付けながら、なるべくわかりやすく解説するので、教科書の内容と照らし合わせてよく復習し、効率的な学習をすることを心掛けてほしい。		

2. 授業計画

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
1	2	微生物・微生物学とは	微生物(学)の概要及び歴史	講義	
2	2	細菌学総論	細菌の性質	講義	
3	2	真菌学・ウイルス学・原虫学総論	真菌・原虫・ウイルスの性質	講義	
4	2	感染と感染症	微生物感染の機構 感染の成立から発症後の経過まで	講義	
5	2	感染に対する生体防御機構①	自然免疫	講義	
6	2	感染に対する生体防御機構②	獲得免疫	講義	
7	2	感染症の予防	滅菌と消毒	講義	

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
8	2	感染症の治療	抗菌薬・抗ウイルス薬・抗真菌薬	講義	
9	2	感染症の現状と対策	新興・再興感染症、院内感染、感染症法、感染症予防の理念と実際、ワクチン・予防接種	講義	
10	2	細菌学各論①	病原細菌と細菌感染症	講義	
11	2	細菌学各論②	病原細菌と細菌感染症	講義	
12	2	ウイルス学各論①	病原ウイルスとウイルス感染症	講義	
13	2	ウイルス学各論②	病原ウイルスとウイルス感染症	講義	
14	2	真菌学	病原真菌・原虫と真菌・原虫感染症、プリオンとプリオン病について	講義	
15	2	評価	筆記試験		